

令和8年4月1日以降にRSウイルスワクチンを接種する方へ

当院では、RSウイルスワクチン接種を予約制で実施しております。令和8年4月1日以降、接種時点で妊娠28週0日から36週6日までの方を対象として、当該ワクチンが公費で接種可能となります。

ただし、お住まいの自治体によっては、患者さんご自身で手続きを行っていただく必要がありますので、ご案内します。

【名古屋市在住の方】

母子手帳があれば接種可能です。予診票はワクチン接種の予約時に病院からお渡しします。ワクチン接種当日までに名古屋市外に転居する予定のある方は、以下の手続きが必要となりますのでご注意ください。

【愛知県内の名古屋市外在住の方】

居住地の保健所/保健センター/市町村役場窓口いずれかで、当院産婦人科で予防接種を行うための「愛知県広域予防接種」の事前の申請が必要です。ワクチン接種の予約時に手続きが完了している必要があること、お手続きには日数を要する場合があることから、お早めの申請をお願いいたします。

予約時及び接種当日は、母子手帳、愛知県広域予防接種連絡票及び予診票を必ずご持参ください。持参されなかった場合は、愛知県広域予防接種事業の対象外となり、自費でお支払いいただくこととなります。その際、自治体から償還払いを受けられない可能性がありますので、ご注意ください。

【愛知県外在住の方】

当院にて接種する場合は自費でお支払いいただきます。自治体で接種費用の助成（一部または全額払い戻し）の制度を受けるには、自治体への事前の申請が必要です。居住地の保健所/保健センター/市町村役場窓口いずれかで、当院産婦人科で予防接種を行うための手続きを進めたいと、ご相談ください。お手続きには日数を要する場合があることから、お早めの申請をお願いいたします。

ワクチン接種予約時及び接種当日は、母子手帳及び自治体発行の書類一式をご持参ください。

【予防接種日に持参するもの】

- 母子手帳
- 予診票
- 必要事項を記載、内容でわからないところがあれば空欄のまま当日ご相談ください
- （名古屋市外の方）広域予防接種連絡票
- （愛知県外の方）自治体発行の書類一式

令和8年3月2日

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 産婦人科